



「ようやく世界と勝負できるようになってきた。10位以内を目指す」。2大会連続で男子マウンテンバイクに出場する幕別町出身の山本幸平選手(26)はESP ECIALIZED(エスプリエリジド)国際アウトドア専門学校、帯農高出陣は、自信に満ちた声で抱負を語った。

◆難コース経験

マウンテンバイクは、起伏の激しい周回コースで速さを競う。コースには岩や木の根が点在し、天候次第で路面状態が大幅に変わる。ハンドルさばきに集中して選り、孤独と闘いつつ練習に打ち込んだ。

完走できず46位に終わった北京五輪。日本の第一人者はロンドンに向け、2007年から練習していたフランスに腰を据えた。言葉が通じない海外生活をあえ

鎌田利道・山本幸平後援

自転車 山本幸平選手

試練の移籍、見えた世界



海外で鍛錬した走りを見せる山本幸平選手(5月27日・J・シヨナリ大会)

会長(元道マウンテンバイク協会理事長)は「人間としても一回り成長した」と感心する。本場でもまれ、2009年からアジア選手権を3連覇する実力を身に付けた。今年1月には「世界のトップチームのスペシャライズド(米国)に移籍した。世界王者をはじめトップ選手が在籍する強豪。収入も安定しな

10位以内を目指す

いたため迷いもあったが、国内有数の選手で兄の和弘さんの後押しを受け、五輪年に環境を変える一種の賭けに打って出た。

◆自己最高位に

移住先もフランスからスイスに変わり、コーチの練習メニューを一人でこなしたほか、チームに合流して技術を磨いた。W杯ではこれまで30位前後が続いたが、6月末の米国内では自己最高位の16位に入るなど上り調子だ。

「移籍の選択は間違っていないかった」と確かな手応えをつかむ山本選手。選手の間親らと応援に現地へ行く鎌田道也さん(北雅貴)

山本選手出場予定日程(日本時間) ◆男子マウンテンバイククロスカントリー

▽決勝 8月12日午後9時半

社長、帯広は「最高の走りができるだけトップ10は十分可能だ」と太鼓判を押す。山本選手は26日、高地合宿先のフランスから十勝毎日新聞社にEメールでメッセージを寄せ「十勝からの応援は気持ちのパワーになる。レースを見て、マウンテンバイクに乗ってみたい」と思ってもらえるように気持ちを含めて走るの、熱い応援をよろしくと意気込んだ。(北雅貴)